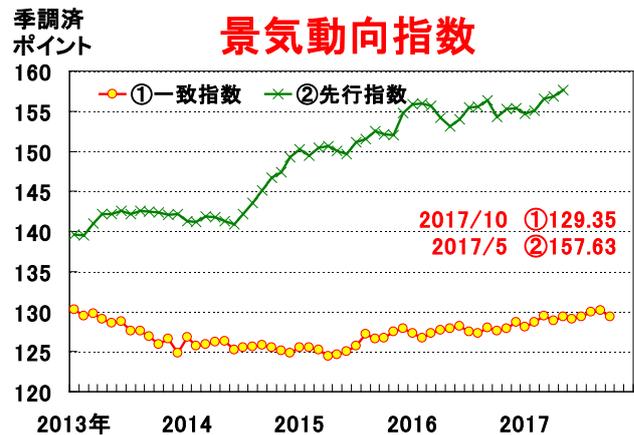
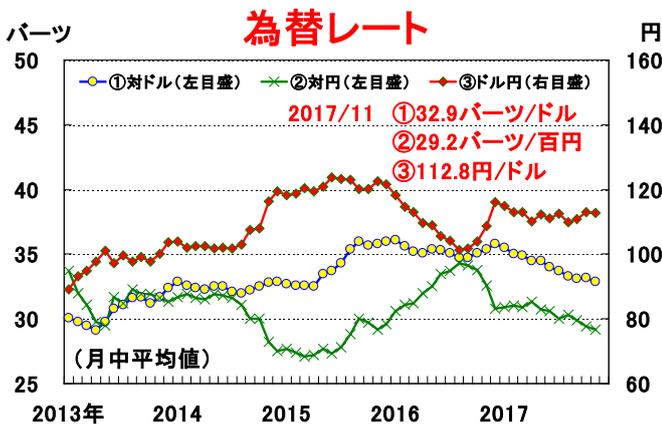
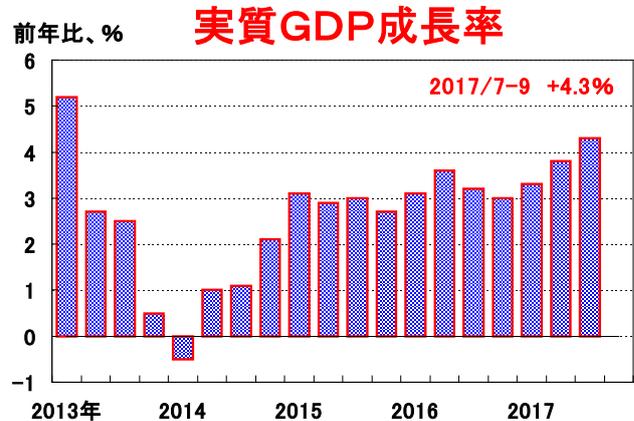
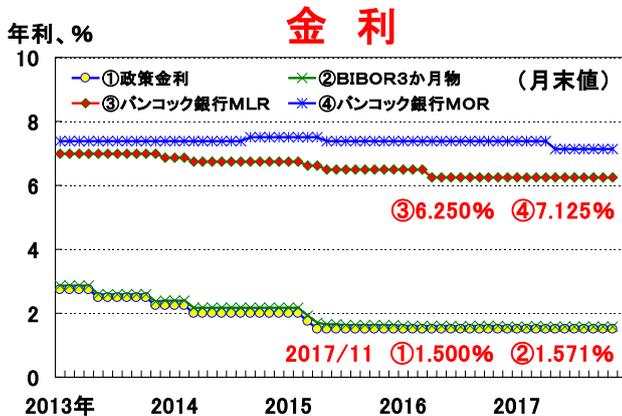


グラフで見るタイ経済 2017年12月号(No. 102)

2017年7～9月期の実質GDP(国内総生産)は前年比+4.3%(前期は同+3.8%)と、成長率が4年半ぶりの高水準となった。7～9月期には、民間投資が前年比+2.9%と減速したものの、輸出が同+12.5%と約5年ぶりの大幅増を記録したことが成長率を押し上げた。また、個人消費が前年比+3.1%と個人所得の改善を背景に伸びがやや高まり、政府消費も同+2.8%と若干加速した。直近の月次指標をみると、11月の企業景況指数が51.3(前月は50.6)と7か月連続で中立水準の50を上回り、企業マインドの回復基調が続いている。



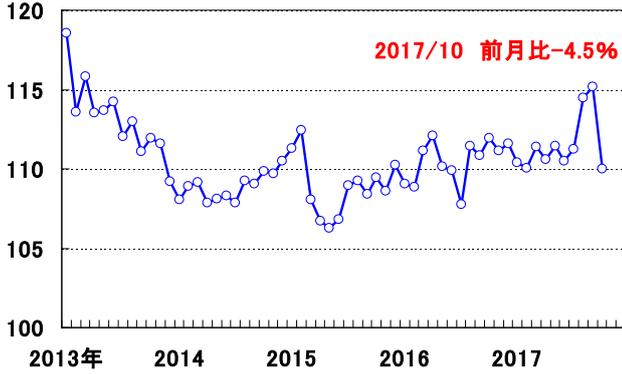
【今月のトピック:深刻化するタイ人の肥満の問題】 国際連合世界食糧計画が公表したレポートによると、2014年のタイの成人に占める肥満者の比率は9.5%と、2005年の5.3%から大幅に上昇した。東南アジアで比較すると、タイの肥満者比率はブルネイ・ダルサラーム(17.4%)、マレーシア(13.3%)に次いで第3位となっている。タイで肥満問題が深刻化している背景には、高カロリー低栄養食品の蔓延や、少子化が進行するなかで子供に過剰に食品を与える親が増加していることなどが指摘されている。医療コスト増を抑制するため、タイ政府は肥満対策を強化することが求められている。

(出所) タイ中央銀行、タイ国家経済社会開発委員会 (NESDB)、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用にはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

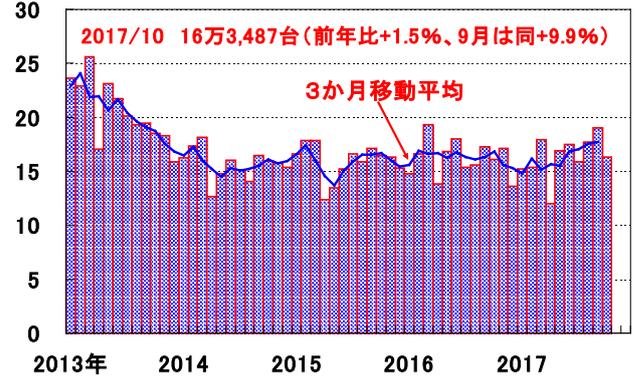
季調済
2000年=100

工業生産指数

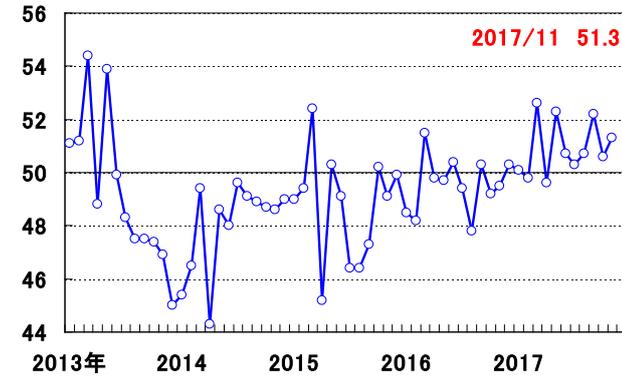


万台

自動車生産台数

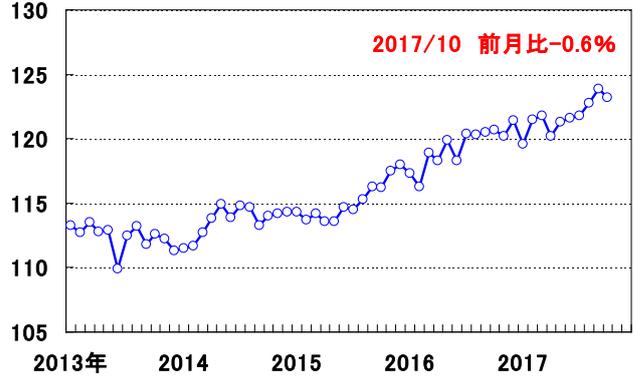


中立水準=50 企業景況指数(BSI)



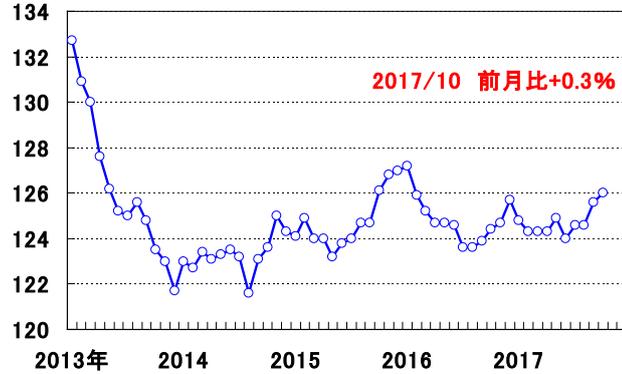
季調済
2000年=100

個人消費指数



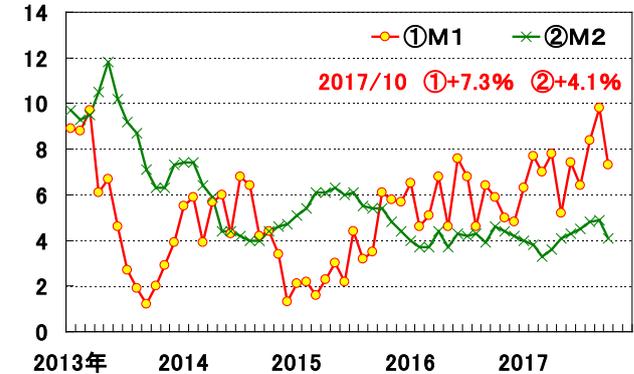
季調済
2010年=100

民間投資指数



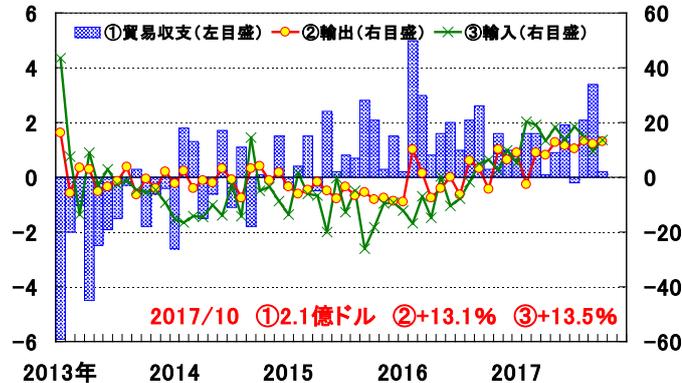
前年比、%

マネーサプライ



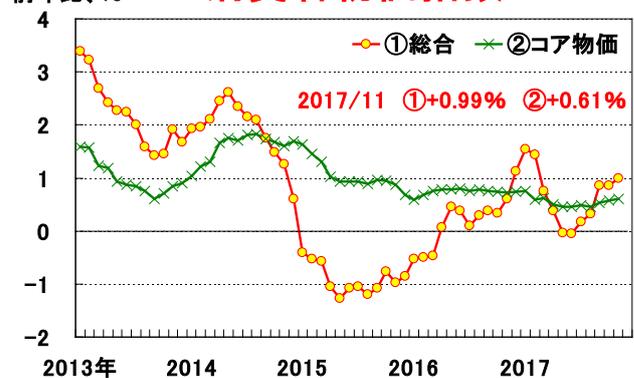
10億ドル

貿易収支



前年比、%

消費者物価指数



(出所) タイ工業省、タイ中央銀行、タイ国家統計局、タイ工業連盟 (FTI)

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用にはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。